

メッセージ 4
栄光のキリストのビジョン

聖書：啓 1:9 — 2:1, 7

- I. 啓示録は、「イエス・キリストの啓示」であり、勝利者についての書です——啓 1:1, 3. 2:7, 11, 17, 26-28. 3:5, 12, 20-21. 21:7. 22:18-19. 12:11:
- A. 新エルサレムは勝利者の総合計です：
1. 勝利者たちは、来たるべき時代において、すなわち千年王国の時代において、新エルサレムとなります。それは永遠における新エルサレムの前身です—— 2:7. 3:12。
 2. 永遠における新エルサレムにおいて、すべての信者は勝利者となります—— 21:7。
- B. 啓示録において、主が求めているもの、また主が建造するものはシオン、すなわち勝利者たちです—— 14:1. 詩 51:18. 102:21. 128:5. 135:21. イザヤ 41:27. ヨエル 3:17。
- C. わたしたちはキリストの勝利を得た花嫁の構成要素となるために（啓 19:7）、啓示録第 1 章の栄光のキリストのビジョンを見なければなりません：
1. わたしたちがこの地上にいるのは、神の言（啓示されたキリスト）とイエスの証し（証しする召会）のためです—— 2, 9-20 節. 19:10。
 2. わたしたちは、金の燭台の間にいる人の子としての栄光のキリストのビジョンを受けるために、わたしたちの霊の中にある必要があります—— 1:10, 13 前半. 参照、4:2. 17:3. 21:10。
- II. 人の子としてのキリストは大祭司であり、「足まで垂れた衣を着て、胸に金の帯を締めておられ」（啓 1:13）、彼の人性において諸召会をはぐくみ、彼の神性において諸召会を養います：
- A. 人の子は人性におけるキリストであり、金の帯は彼の神性を表徴し、胸は愛のしるしです：
1. キリストは腰に帯を締め、神聖な働きのために強められて（出 28:4. ダニエル 10:5）、諸召会を生み出しますが、啓示録第 1 章で彼は胸に帯を締めて、彼の愛によって生み出した諸召会を顧みます。
 2. 金の帯はキリストの神聖な活力としての彼の神性を表徴し、胸はこの金の活力が彼の愛によって、また彼の愛をもって活用され、動機づけられて、諸召会を養うことを表徴します。
- B. キリストは人の子として彼の人性において諸召会を顧みて、諸召会をはぐくみます——啓 1:13 前半：
1. 彼は燭台のともし火を整えて、ともし火を正常にし、わたしたちをはぐくみます。それは、わたしたちが幸いになり、喜び、心地よくなるためです——出 30:7. 参照、詩 42:5, 11：

- a. 主の臨在は、温かくて柔らかい雰囲気をもたらして、わたしたちの存在をはぐくみ、わたしたちに安息、慰め、いやし、清め、励ましを与えます。
 - b. わたしたちは召会の中で主の臨在のはぐくむ雰囲気を楽しむ、命の養う供給を受けることができます——エペソ 5:29. 参照、I テモテ 4:6. エペソ 4:11。
2. 彼は燭台のともし火の灯芯を切り取り、わたしたちが輝くのを妨げるすべての消極的なものを切り取ります——出 25:38 :
 - a. 灯芯の焦げた部分、黒くなった部分は、神の定められた御旨にしたがっていない、切り取られる必要のあるものを表徴します。例えば、それはわたしたちの肉、天然の人、自己、旧創造などです。
 - b. 彼は諸召会の中のすべての違い（過ち、短所、失敗、欠点）を切り取り、諸召会が本質、現れ、表現において同じになるようにします——参照、I コリント 1:10. II コリント 12:18. ピリピ 2:2。
- C. キリストは彼の神性において、彼の胸の金の帯で表徴される彼の神聖な愛をもって諸召会を顧みて、諸召会を養います——啓 1:13 後半 :
1. キリストは彼の三つの時期の満ち満ちた務めの中で、すべてを含むキリストとしてのご自身をもってわたしたちを養います。それは、わたしたちが神聖な命において成長し、円熟して、彼の勝利者となり、彼の永遠のエコノミーを完成するためです。
 2. 歩くキリストとして、彼は各召会の状態を知るようになります。そして語る霊として、彼は燭台を整え、新鮮な油をもって、すなわちその霊の供給をもって燭台を満たします—— 2:1, 7。
 3. わたしたちは彼の行動にあずかり、彼の顧みを楽しむために、召会の中にいなければなりません。
- III. 主は天的に太古からおられます。それは、彼の頭と髪が白い羊毛のように雪のように白いことによって描写されています——啓1:14. ダニエル7:9. ヨブ15:10. 参照、雅5:11。
- IV. 主の七つの目は、火の炎のようです。それは、見つめ、観察し、探り、そして照らし注入することによって裁きのためです——啓1:14. 5:6. ダニエル10:6 :
- A. キリストの目は地上における神の行動と活動のためです。なぜなら、七は神の行動における完全の数字であるからです。
 - B. 主の目が火の炎のようであるのは、おもに彼の裁きのためです—— 7:9-10. 啓 2:18. 19:11-12。
- V. 主の足は、炉で精錬された輝く青銅のようです。これは、彼の完全で輝く歩みが、彼に神聖な裁きを執行する資格を与えることを表徴します——啓1:15. エゼキエル1:7. ダニエル10:6。
- VI. 主の声は、大水の響きのようです（啓1:15. 参照、14:2）。それは、ごう音、全能の神の声の響きであり（エゼキエル1:24. 43:2）、厳粛で荘重です（参照、啓 10:3）。
- VII. キリストは諸召会の輝く使者たちを握っている方です——啓1:16前, 20 :

- A. 使者たちは諸召会の霊的な人たちであり、イエスの証しの責任を担う人たちです。
 - B. 使者たちは星のように、天的な性質を持ち、天的な地位にいて、主からの新鮮なメッセージを持っており、彼の民に与えます—— 2:1 前半。
 - C. 導いている人たちは彼の右の手にあるので、しりごみする必要は全くありません。キリストは確かに彼の証しのために責任を取ります。
- VIII. キリストの口から鋭いもろ刃の剣が出ています。それは彼の識別し、裁き、殺す言葉であり、消極的な人や物事を対処するためです——啓1:16中、ヘブル4:12、エペソ6:17。
- IX. キリストの顔は、太陽が力を帯びて輝くようです（ダニエル10:6）。それは、裁きの照らしのためであって、王国をもたらします——啓1:16後、マタイ17:2。参照、マラキ4:2、士5:31、マタイ13:43。
- X. キリストは最初の者また最後の者であって、彼が決してご自分の働きを途中で終わらせないことをわたしたちに保証します。キリストはまた、生きている者であって、彼のからだの表現としての諸召会を生かし、新鮮にし、強めます——啓1:17-18前半。
- XI. キリストは、死とハデス〔陰府〕のかぎを持っています——啓1:18後半：
- A. 死は集める者であり、ハデス〔陰府〕は看守です。しかし、キリストは十字架上で死を廃棄し、彼の復活の中でハデス〔陰府〕に打ち勝ちました——Ⅱテモテ 1:10、使徒 2:24。
 - B. わたしたちが訓練して自己を否み、十字架を取り、自分の魂の命を失うことによって、主に地位、機会、道を与えて、主にわたしたちの間で動き行動していただいている限り、死とハデス〔陰府〕は彼の制御の下にあります——マタイ 16:18, 21-26。